

# 青山

AOYAMA

## 梅窓院通信

No.33 2007/09/01

秋彼岸号



十八檀林・川越 蓮馨寺 呑龍堂 (平成19年5月12・13日 梅窓院団体参拝旅行-川越 蓮馨寺と秩父の旅-記念写真)

住職挨拶

梅窓院第二十五世

中島真成



今年も早いもので九月を迎えます。夏の疲れが残っている方も多いかと存じます。どうぞご自愛下さい。

さて、この七月に山門から本堂までの境内の敷石を変えているのですが、お気づきになりましたでしょうか？

梅窓院では環境問題を考慮して、水はけを良くする為にコンクリートを敷かず土の上に直接敷石を並べています。ですが、車やトラックの重さに耐えかねて恒常的に敷石が割れてしまい、今回敷石を正方形の厚いものに変えることにしました。

天候不順もあり、突然の大雨となる昨今、雨水は全部下水道へ、というのではなく、自然を守る見地からできるだけ地面に水を染み込ませることが大切ではないでしょうか。

また、墓地通路も同じ考え方から通路下の深さ1〜2メートルまでに砕石を敷き詰め、そこから左右と下の地面に水が染み込むようにしてあります。それでも、どうしても土に染み込まない雨水が下水道に流れる仕組みにしております。

こうしたことが近隣への迷惑を回避し、また自然にやさしいことになるのではないかと思っています。

「できることをできる人がする」どんな小さなことでも、こうした積み重ねが私たちの地球を守る事になる。

こういう私も気づかないことだらけですが、自分たちでしか環境は守れない、という意識だけは忘れないようにしたいと思います。

# 「彼岸を目指す」

栃木 法善寺住職

吉水智教 上人

## 行

樂の秋です。皆さんも旅行にいかれることは多いことでしょう。

う。気の合う仲間同士、温泉やお食事を目当てに旅行をするのはとても楽しいものです。私達の人生もよく旅にたとえられます。飛行機で一足飛びにいくな人もいれば、各駅停車でのんびりいく人もいます。病気、事故、災難等様々な理由で突然に下車しなければならぬこともあるかもしれません。手袋も速さもそれぞれですが臨終という目的地に着くころにはそれまで一緒だったお友達、伴侶、両親、子供さんでさえもついてきてはくれません。最後はたった一人で往かねばならないのです。

弥陀様は「南無阿弥陀仏とわが名を称えなさい。称えた者は必ず私の極楽浄土に救ってあげます。親しいご縁の深い人とも再びお会いをさせてあげます。共に仏となるまで修行もさせてあげます。だから南無阿弥陀仏とわが名を称えなさい」そのように「本願（ほんがん）」にお誓い下さり、今も極楽浄土から私達のことを救おうとされている仏様です。私達の住む「此岸（しがらみ）」から極楽浄土という「彼岸」に往く方法は只一つ、阿弥陀様の「本願」にすがり南無阿弥陀仏と称えることだけです。

私達が拝む阿弥陀様は極楽浄土という行き先をご用意下さいました。悲しみ、苦しみを迷いながら、行くあても分からずにさまよっている私達のために極楽浄土という目的地をご用意下さったのです。阿弥陀様は「南無阿弥陀仏とわが名を称えなさい。称えた者は必ず私の極楽浄土に救ってあげます。親しいご縁の深い人とも再びお会いをさせてあげます。共に仏となるまで修行もさせてあげます。だから南無阿弥陀仏とわが名を称えなさい」そのように「本願（ほんがん）」にお誓い下さり、今も極楽浄土から私達のことを救おうとされている仏様です。私達の住む「此岸（しがらみ）」から極楽浄土という「彼岸」に往く方法は只一つ、阿弥陀様の「本願」にすがり南無阿弥陀仏と称えることだけです。

お迎えに来てくださり極楽浄土へと連れて行って下さるのです。そこには先にお別れしたご縁の深い人々もお待ちです。仏様、親しいお方々がお待ち下さる目的地があるということほど、安心で心強いことはありません。

「阿弥陀経」というお経には次のように説かれています。「これより西方十万億の仏土を過ぎて世界あり、名づけて極楽という、その土に仏まします、阿弥陀と号したまはつる、今現にましまして説法したまへり」

お彼岸の一週間は丁度西の方角に太陽が沈みます。極楽浄土がある西の方角に想いを定めながら念仏を称えられる絶好の時期です。しっかりと「彼岸」である極楽浄土を目指して、南無阿弥陀仏と称えながら、人生という旅を歩んでいきたいものです。

（総本山知恩院布教師 大本山増上寺布教師）

### 第41回念仏と法話の会 6月12日



雨天にもかかわらず両日で7000人余りの方が訪れ、にぎわいを見せていました。

### 第14回郡上おどりin青山 6月23日・24日 境内

## 六・七月の 行事報告

### 盂蘭盆会法要

7月13日 梅窓院本堂



本堂に入りきれない程たくさんの方がお参り下さいました。

お齋・食作法の様子。



施餓鬼法要の様子。

### 施餓鬼会大法要

7月21日 本堂・祖師堂

# 秋彼岸法要

## 9月23日(日)

### 彼岸寄席

午後1時～ 1階 観音堂

### 秋彼岸会法要

午後2時～ 2階 本堂

### お彼岸ライブin青山

Pječkae(ペチカ)他

開場 午後2時半～ 地下2階 祖師堂

開演 午後3時

入場料 お布施 500円以上(ドリンク付き)

#### Ⅰ 彼岸寄席

##### 柳家小里ん 師匠

1948年浅草生まれ。1969年五代目柳家小さん入門、1974年、二つ目昇進の折「小里ん」に改名。1983年真打昇進。国立演芸大賞など数々の賞を受賞。「くるわ噺」を得意とする。

##### 柳家麟太郎さん

1957年東京都杉並区出身。サラリーマンから一転、落語家になることを決意し、1999年柳家小里ん入門。2003年、二つ目昇進の折「麟太郎」に改名。

#### Ⅰ お彼岸ライブ in 青山

##### Pječkae(ペチカ) 他

11組のアーティストたちを迎えてのお彼岸ライブ。中には梅窓院のお檀家様がリーダーを勤めるグループも!

(同封の案内チラシもご参照下さい。)



柳家小里ん 師匠



柳家麟太郎さん



ペチカ

#### 塔婆申込み方法

同封のはがきを使い9月15日必着でお申込み下さい。塔婆回向料は1本7000円とさせていただきます。

#### お支払方法

同封の振込用紙で郵便局にてお支払い頂くか、当院受付までお持ち下さい。(銀行でのお振込みは出来ません。)

#### お檀家様へお願い

- お彼岸前後の土・日・祝日はお参りに来られる方で境内が大変混み合います。ご来寺の際は電車等、公共交通機関をご利用下さい。
- 9月20日～26日まで、境内駐車スペースは、お体のご不自由な方、車椅子をお使いの方の車を優先とさせていただきます。ご協力お願いします。

#### 秋彼岸に寄せて

九州の大雨、新潟の地震、欧州では熱波と世界的に天災地変が続いています。

いつどこで、何が起きるか分からないこの世、此岸に生きていることを再認識させられます。実は心の中でも同じことが毎日起きているのです。

あれがこれがと欲しいものを求める貪り。求めるものが手に入らず地震、熱波のように瞋り、それでも抑えられない感情は愚痴をこぼし、時には大雨のような涙を流します。仏教ではこの貪・瞋・痴を心の三毒として、苦の根元と説いています。

この不安定な世の中に生きる私たちの心は、太陽信仰と浄土信仰により、自然と太陽の沈む方角に向いていきました。これが「お彼岸」のルーツです。太陽が真東から昇り、真西に沈む秋分をはさんで七日間、夕日を眺めてみて下さい。これは阿弥陀様の世界、西方極楽浄土を思い描く日想観と言う修行です。

またお墓参りの際は、本堂にもお参り下さい。本堂は西の方角に位置し、西方極楽浄土を表現しているからです。ご先祖様がいらつしゃる世界、見ている景色に思いを馳せ、いただいているいのちに手を合わせてみて下さい。三毒によって右に左に曲がった心のカーブも、昼夜平分のお彼岸のように真っ直ぐになること(法務)



平成23年、浄土宗を開かれた  
法然上人の800回目の法事、  
“大遠忌”が行われます。

そしてこれに向け浄土宗では  
色々な行事を企画、実施しています。

そこで、この梅窓院の寺報『青山』でも800年大遠忌に向け、  
色々な特集を組んでいくことにしました。

最初の特集は法然上人の説かれた念仏、

そして梅窓院の定例行事「念仏と法話の会」について  
お話しいたしましょう。

# 法然上人の 専修念仏

## 南無阿弥陀仏のお念仏

法然上人の教えは「専修念仏」の一行です。

今をさかのぼること八三〇  
年余、修行に行き詰まった法  
然上人は、比叡山青龍寺の経  
藏に籠り、大藏経という一切  
の經典を読みふけります。そ  
こで、後に浄土宗開宗の文と  
言われるようになる『観無量  
寿経』の解釈、『観経疏』の  
一節に出会うのです。

「一心専念彌陀名號、行住  
坐臥不間時節久近、念念不捨  
者、是名正定之業、順彼佛願  
故」

これは、善導大師が説いた  
もので「一心に弥陀の名号を  
念じて、いつでもどこでもだ  
れでもそれを怠らないときは、  
間違いない浄土に迎えられる  
行くことが出来る。それは、  
どんな愚かな力弱い者でもも  
れなく救ってやろうという阿  
弥陀様のお慈悲に満ちた本願  
の力によるからである」とい  
う意味です。では、私たちが  
救ってくださるといふ阿弥陀  
様のこの本願とはどういうも  
のなのでしょう。

阿弥陀様がまだ仏になる前  
の法蔵（菩薩）であった頃、  
あらゆる人の願いを叶えるた  
めに世自在王如来という仏様  
の前で四十八の誓願をたてま  
す。その十八番目に、「念仏

往生の願」があります。それ  
は、「もしわたしが仏になっ  
たのならば、十方に存在する  
あらゆる衆生が一心に私の国、  
浄土に生まれたいと願ひ、念  
仏したならば、必ず浄土に救  
いとります。もしそれができ  
なければ、私は仏になりませ  
ん」というものでした。善導  
大師はこれを「阿弥陀様とし  
て現に成仏している今、本願  
は叶えられたのであり、阿弥陀  
様の名前を称えれば必ず往  
生できる」と解釈し、『観経  
疏』に記したのです。法然上  
人はこの文から一切の衆生が  
救われるのはお念仏（称名念  
仏）であるということに気づ  
きます。南無阿弥陀仏、この  
お念仏は阿弥陀様自身が、全  
ての者を救う為に使われた「平  
等の慈悲」であると法然上人  
はとらえたのです。

さて、このお念仏を称える  
には、心と行が相応していな  
ければなりません。これはど  
んな宗派においても言える事  
で、「発心修行」というもの  
です。浄土宗では「安心起行」  
と言っています。

私たちが南無阿弥陀仏を称  
える時、疑いなく往生すると  
いう深い信心を持ってお念仏  
を称えれば、わたくしたち衆  
生の救済をしたいという阿弥陀  
様の本願と救済されたいと  
願う衆生の信心が一体となり、

極楽浄土に往生できるのです。  
「南無阿弥陀仏」すなわち  
「心から阿弥陀様に帰依いた  
します」という阿弥陀様に対  
する絶対な信頼を持ってお念  
仏を称えることが大切なので  
す。

さて、お念仏をすると極楽  
浄土に往生できるという来世  
は約束されました。現世では  
どうでしょう。

『選択本願念仏集』の中で、  
法然上人はこう記しています。  
「三昧の境地を得る道場に  
入るを除いては、日別に弥陀  
仏を念ずること一万、命畢る  
まで相続すれば、即ち弥陀の  
加念を蒙つて、罪障を除くこ  
とを得。また、仏、聖衆とと  
もに常に来たつて護念を蒙り  
ぬれば、即ち年を延べ寿を転  
ずることを得」と。つまり、  
お念仏を称えていけば往生の  
妨げになる悪い行為を除くこ  
とが出来、また、お念仏を心  
がけていけば、長生きがす  
ることができるといふのです。

普段の生活の中でお念仏の  
為の時間というものはなかな  
かとれないものですよね。

そこで、梅窓院では、「念  
仏と法話の会」と称して、皆  
様にお念仏を身近に触れて頂  
き、仏縁を深めて頂きたいと  
いう趣旨でお念仏の場をつくっ  
ています。

（編集部）

お念仏は自分の為のもの。  
是非ご参加ください。

# 念仏と法話の会

今年で13年目を迎える梅窓院「念仏と法話の会」。  
1年に3回、2月、6月、10月に開催しています。  
法要事・法話事・法楽事と、「法事三事」のスタイル  
に習い構成されています。  
それまでは僧侶の修行の場であった念仏会を一般  
の方々にももっと身近に、という事で現・真成住職  
が考案されたこの催し、どんな行事なのかちょっと  
覗いてみましょう。



▲法要の様子。この後本堂を真っ暗にし、  
木魚を叩きながらひたすらお念仏を称えま  
す(念仏一会)。  
この間約1時間。非日常の空間の中で何か  
感じるものがあるかもしれません。



▲毎年、梅窓院にご縁のあるご僧侶にご法話を  
頂いています。(写真は高橋清海上人)

▶真剣にお念仏した後は茶話会でリラックス。普段あまり接  
する機会のないご僧侶方と打ち解けた雰囲気の中でお話  
できます。  
お茶は僧侶自ら給仕して下さいます。これも修行の一つ。  
お菓子をつまみながら日頃の疑問などを聞いてみるのもい  
いかかもしれません。

▼まずは一階から二階本堂まで、お念仏を称えながら  
僧侶に続いて行道します。



▲表彰者は住職と一緒に記念撮影。



▲節目の参加回数ごとに表彰もしています。  
第41回では、なんと40回皆勤賞!の 様  
の表彰が行われました。  
これを励みに参加するのも良いかもしれません。



## 梅窓院を囲む人々

梅窓院は楽しいお寺です

檀家

さん

今回、囲む人々にご登場いただいたのは、平成14年に檀家になられた さん。ご実家が新潟の柏崎

で、ご主人が被災地に向かわれる日の取材となったが、お茶を点てていただき、快く出迎えていただいた。

さんは平成16年に詠唱会に入会されたが、入檀以来、施餓鬼や十夜といった仏教行事はもちろん、団参、仏教講座、念仏と法話の会、コンサートといった梅窓院の行事に欠かさず参加されている。

そんな さんのお寺への思い、そして20年近く続けられている幼稚園児のお茶の教室の話を伺った。

◆ご実家が地震で大変な時になってしまいましたが、本日はよろしくお願ひします。

さんはお生まれが新潟の柏崎ですか。

はい、大分前ですけど、柏崎で生まれ育ちました(笑)。

◆そして東京へ。

ええ、結婚と同時にこの千駄ヶ谷に引越しました。参議院議員だった父がずっと住んでいた家です。いまでは主人と私、そして息子家族との二世帯で住んでいます。

◆新潟のご実家も浄土宗ですか。

はい、兄が守ってくれていますが、西光寺というお寺で、兄が檀家総代を務めております。

今年が父の五十回忌にあたりました。

◆そうですか、そして梅窓院とのご縁が平成14年からですね。

ちょうど梅窓院さんが建築中で仮本堂で手続きをさせていただきました。

◆お墓をお探してしたか。

ええ、家から近い浄土宗のお寺ということで探したのですが、梅窓院さんで、お茶の関係者の葬儀があったり、娘もお茶室に伺ったことがありましたので。

それに、長男も梅窓院のことを知っていて、長男からも薦められましたから(笑)。

もともと主人も私もお墓を探すには気が乗らなかったのですが、こうしてお墓を作ったら、とても安心しました。主人なんか散歩がてらにお寺に行って、誰も入っていないお墓を一所懸命掃除しています。



着物姿からは想像しにくいですが、さんは高校時代に体操で国体に出場したスポーツウーマン。今も時間があれば散歩にエアロビクスと体を動かされている。また、中学と高校で家庭科の先生をしていたという文武両道、才色兼備のお檀家さん。



ご自宅の茶室でお茶を点てていただきました。



詠唱は鳴り物を持つひじの角度が難しいのよ、と笑顔で話されるさん。

◆そうですか、お寺まで歩いて10分ちょっとですから、のんびり散歩で行けますね。

でも、 さんはお墓参りだけでなく、お寺の各種行事にも毎回のように参加していただいていますね。

ええ、梅窓院さんは色々な行事があって、とても楽しいですよ。

詠唱は始めたばかりですが、楽しく厳しく先生が良いです。仏教講座はちょっとむずかしいわね(笑)。でも、いただいた資料とか帰ってからちゃんと読んでいます。

郡上おどりは孫も楽しみにしています。私は普段から着物ですけど、浴衣の方も多くて、日本の夏って感じね。

コンサートも楽しみだし、お墓参りだけのお寺でないのが素敵ですね。

◆もし、お寺の行事参加のMVPがあったら さんは間違いなく最有力候補の一人ですね(笑)。

それと幼稚園で園児にお茶を教えられているとお聞きしましたが……。

ええ、近くの鳩森(はとのもり)幼稚園の年長さんにお茶の授業があって、そこで教えて20年近くになります。平成2年にお茶の師匠から引き継ぎまして。

◆幼稚園児だとお茶はまだ無理ではないですか？

いいえ、大丈夫なんですよ。もう、年長さんぐらいになると、大人しく静かにしています。

卒園を前に最後に子供たちが自分のお母さんのためにお茶を点てるのですが、子供の点てたお茶にそれはお母さんたちが感動していらっしやるんですよ。

◆どんな事を教えていらっしやるのですか。

細かい作法は無理ですので、席入の仕方、お辞儀の仕方、挨拶、お茶の点て方、いただき方、そして箸の持ち方などです。基本中の基本ですけど、自分で言うのも変だけど、これが大好評なの(笑)。

いま、家庭でこういう事教えないからでしょう。

◆子供のうちに覚えたことは忘れない。

中には卒園しても教えて欲しいという子もいて、大人になったいまでも、うちに来てくれて一緒にお稽古している子もいます。

◆ますますのご活躍と、梅窓院の応援をお願いします(笑)。本日はありがとうございました。

とんかつ まい泉 青山本店

お肉の柔らかさに驚き

ヒレかつサンドイッチでもおなじみのとんかつ屋まい泉。

店内は座敷、テーブル席と二百席ほどあり、西洋館は昔の銭湯をそのままレストランと厨房に使用。天井が高くレトロな雰囲気落ち着いて食べるのが出来ます。

豚肉の種類も普通の豚の他に、今話題の黒豚や紅豚があり、セットメニューも豊富で、何を食べようか迷ってしまいます。

てしまします。食べて驚くのはお肉の柔らかさ。箸で簡単に切る事が出来るのです。その秘密はお肉を叩いて下ごしらえをしているから。ソースも甘口、辛口、黒豚・紅豚専用ソースがあり、お肉の種類によって変えられます。おいしく食べる為のこだわりがうかがえます。

宴会コースは五千円から。少人数から九十名まで対応できるので、法要の後席に利用してみたいかがでしょうか。

要の後席に利用してみたいかがでしょうか。

広々とした店内

◎特選

◎ 知り尽くす町の片陰もどりけり

(評)曇っていた町に日が差し、いっせいに片陰ができたのです。知りつくしている町ですから、どこどここの片陰をたどっていけばいいか、十分知っているのです。

◎佳作

◎ 風の入る音もありけり葭簀茶屋

◎ 沙羅咲いてひと日の命惜しみけり

◎ 水しぶき太陽弾く川辺かな

◎ 夕暮れに夏の香薫る吾子の髪

◎ 雨の夜の道に茉莉花香るかな

◎ 緑こき御苑の森や蟬の声

◎ もろもろの雑念消えし夏念仏

◎ 夏燕駄菓子屋街に歩をゆるめ

◎選者詠

◎ 遠花火浜吹く風にねそべつて

大崎 紀夫

(ワンポイントアドバイス)

季節の使い方迷うことがよくあります。「朝顔市」は夏の季語で、「朝顔は秋の季語。しかし、私はあまり細かくこだわらないようにしています。その年によって、また沖繩から北海道まで地域によって季節の移り変わりは歳時記通りにいかなければなりません。

青山俳壇

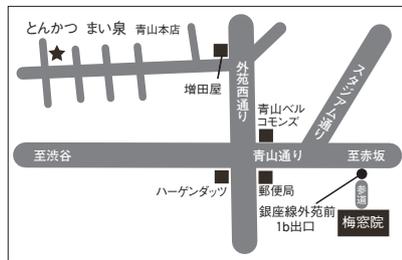
選者「ウェブ俳句通信」編集長

大崎 紀夫

「やぶれ傘」会員募集

青山俳壇の選者、大崎紀夫先生による俳句の会です。ご興味のある方は、下記の番号までご連絡下さい。

ウェブ編集室  
電話03-5368-1870



営業時間/11:00~(L.O22:00)  
(ランチ/11:00~16:00)年中無休  
駐車場/7台  
住所/〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-8-5  
TEL/03-3404-0071



メニューを選ぶ時間も楽しいひとときに。定食は700円代から。



上/手ごろなバーガーも5種類揃っています(要予約)。  
下/おなじみのヒレカツサンド。



広々とした店内

第二十八回 食は命

脳を若々しくする「くるみ」

武鈴子 食養研究家

胡桃と書いて「くるみ」と読む。中国には西域から伝わり、形が桃に似ているので、この名があるという。唐代に書かれた「食療本草」(食物の効能を記載)には、くるみは「血管を滋養して血液の流れをよくする。常食していると髪の毛を黒くし、筋肉に潤いとつやをもたらす…」と記されている。肝臓腎臓の働きを補って、腰を強くし、また古くから脳の働きを高める作用がある“健脳食”として知られている。なるほど、殻をむいたくるみは脳の形にそっくり。

中国の西太后はいつまでも若々しい肌、肉体を保つためにあらゆる健康法を試したが、ことのほか「くるみ汁粉」を好んでいたという。古代ギリシア・ローマ時代には、子孫繁栄や五穀豊穡を願い、結婚式には必ず供されたといえます。

新鮮なくるみが手に入りやすいシーズンです。お試しください。

くるみとなつめのおしるこ

材 料:くるみ100g、なつめ35g、米40g、キビ砂糖100g

作り方:①なつめは洗って蒸し器に入れ、柔らかくなるまで(30~40分)蒸してタネを除いておく。

②むきくるみはぬるま湯につけて渋皮を取り、洗った米、①のなつめといっしょに1時間水に漬けておく。

③②の材料と水300ccをミキサーにかける。

鍋に水300ccを入れて火にかけ、③を加えてゆっくりかき混ぜながら煮る。沸騰してきたらキビ砂糖を加える。

投句募集

今回は「秋の季語」でご自由にお詠み下さい。11月5日を締切、平成20年1月発送の『新年号』にて発表致します。住所、氏名をお書き添えの上、ご応募下さい。皆さまの投句をお待ちしております。

〒107-0062 港区南青山2-26-38  
梅窓院「青山俳壇」投句募集係

## 行事予定

### 梅窓院祖師堂特別公演 平井丈一朗チェロコンサート

9月8日(土)  
開場 午後3時半～ 祖師堂  
開演 午後4時～  
※お申し込み受付は終了致しております。

### 秋彼岸会法要

9月23日(日)  
寄席 午後1時～ 観音堂  
法要 午後2時～ 本堂

お彼岸ライブin青山  
開場 午後2時半～ 祖師堂  
開演 午後3時～  
※詳しくは3面、同封チラシをご覧ください。



### 第42回 念仏と法話の会

10月4日(木)  
受付開始 午後12時～  
別時念仏会/法話/茶話会  
【講師】  
熊本教区遣迎寺 山崎龍道上人

### 文化講演会

10月20日(土)  
開場 午後2時 祖師堂  
開演 午後3時～  
【講師】建築家 黒川紀章氏  
入場無料/先着300名  
※詳しくは同封チラシをご覧ください。

### 十夜法要

11月24日(土)  
法要/芋煮会/特別LIVE  
※詳しくは十夜号にてお知らせ致します。



### ファンデンブックピアリサイト

12月1日(土)  
※詳しくは十夜号にてお知らせ致します。

協力:東京教区 城西組 教化団

## 平成19年度 後期 仏教講座のご案内

梅窓院では10月より平成19年度後期仏教講座を開催します。  
4名の講師による多彩な内容です。どうぞお気軽にご参加ください。

時間▶午後6時～8時 場所▶1階観音堂 受講料▶無料



講師 勝崎 裕彦 先生(香蓮寺住職 大正大学教授)

講題 仏・菩薩 — その教えと信仰

第一回 11月 8日(木) 天部の諸尊 一守護神・護法天の世界  
第二回 12月20日(木) 四天王とその信仰  
第三回 2月14日(木) 弁才天とその信仰

講師より 「仏さま」として信じ仰ぐ尊格はまことに多様であるが、今回から天部の諸尊の教えと信仰についての解説である。まずは諸天を総覧して、護世四天王、そして女神の代表である弁才天について説明したい。



講師 新井 俊定 先生(天然寺住職 大正大学出版会主管)

講題 法然上人とその弟子たち

第一回 11月19日(月) 1 聖光・信空・源智など出家の弟子  
第二回 1月21日(月) 2 在俗の念仏者 — 熊谷直実など武士の念仏者  
第三回 3月25日(火) 3 在俗の念仏者 — 九条兼実・正房など

講師より 法然上人の説いた専修念仏の教えが、どのような人々によって伝えられていったのかを、法然上人の弟子や、在俗の念仏者を紹介しながら考えてみたい。



講師 阿川 正貫 先生(浄土寺住職 大正大学講師)

講題 中国の名僧たち・その2

第一回 12月12日(水) 仏駄跋陀羅  
第二回 2月19日(火) 曇無讖  
第三回 3月13日(木) 曇鸞

講師より 前回に続き、中国仏教史上の名僧がたの生涯や業績などを紹介し、あわせてその周辺のこと、ゆかりの土地や経典などにも触れてゆきます。年代順に取り上げてゆくの、中国仏教の大まかな流れも多少は感じられるかと思えます。



講師 本林 靖久 先生(真宗大谷派僧侶 大谷大学・佛教学部講師)

講題 ブータンと幸福論 — 宗教文化と儀礼 —

第一回 11月2日(金) 育まれてきた幸福 — 生活文化の諸相 —  
第二回 1月9日(水) ゆらぐ幸福と伝統の創造 — 近代化と情報 —  
第三回 3月7日(金) ブータンから学ぶ「幸福のカタチ」

講師より 国民総幸福を国政に掲げ、世界一幸福な国と脚光を浴びるブータン。前期に引き続き、ブータンの現実と死をふくむ豊かな宗教文化に光をあて、日本人にとっての「幸福のカタチ」を描いていきたい。

発行/梅窓院  
発行日/平成19年9月1日  
発行人/中島 真成  
編集/青山文化村  
住所/〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38  
電話/03-3404-8447  
FAX/03-3404-8446  
ホームページ/http://www.baisouin.or.jp/  
E-Mail/jodo@baisouin.or.jp  
題字/浄土門主総本山知恩院門跡  
第八十六世中村康隆祝下

今回、俳句に挑戦してみました。仕事の帰りやお休みの日に、ふとした出来事を指を折りおり詠んでみるものもなかなか楽しいなあと思いました。皆様もどんどん俳句を詠んで、青山俳壇に送って下さいね。「食は命なり」のお話しにもありました胡桃と共に、脳の活性化になりますよ！  
(智)

編集後記